

78期 CSRレポート

(2022年6月～2023年5月)





目次

CHAPTER 01	総括 -トップメッセージ-	02
CHAPTER 02	2022年の活動	04
CHAPTER 03	79期方針	13

CHAPTER 01

総括 - トップメッセージ -

(作成:清原(株)CSRプロジェクト)

2022年はコロナ禍3年目に突入しましたが、2月にはロシアのウクライナ侵攻が勃発し、ただでさえ外食・レジャーなどファッション熱を刺激する個人消費が低迷するなかで、長年経験してこなかったインフレと円安の波が重なり、78期の前半は苦戦しました。SDGsの理念から大きく乖離する戦争という人的行為が行われているという現実を目の当たりにし、無力感さえ感じました。

一方、78期の後半(2023年の第4四半期)は、新型コロナウイルス感染症の5類への引き下げもあり、経済活動の活発化、渡航規制の緩和によるインバウンド需要の回復などにより、足元の2023年5月現在では企業の業績見通しの改善が進み、株価も3万円台を回復してきました。日本に限らず、経済がしっかり回らなければ健康や心や体の豊かさも得られない……これも事実と言えそうです。

そのような中、サステナブルな商品やサービス、企業活動、社会に関する善行など、企業単位で取り組んできた活動が、サプライチェーン全体で取り組んでいく流れにステップアップし、その一員としての責任を強く感じるようになりました。

特に欧州のお客様や、グローバル企業との取引において、①環境保全、②人権尊重、③労働環境、④腐敗防止に関する指針を持ち活動を推進しているか、マネジメント・システムに落とし込んでいくかが問われています。自社だけでなくベンダー様やパートナー様を巻きこんだ責任ある取組みとなっているか、監査やチェックの仕組みを持っているか、透明性を保つべく対外的に公表・コミットしているかなども問われ、これらを満たすことが取引の前提となってきています。

日本の繊維業界は、経産省のビジョン『2030年に向けた繊維産業の展望』に基づいて動いてきましたが、単体技術開発の話が中心で、産業化に欠かせない受け皿と活用、社会的な枠組み設計の視点が弱く、スピード感が乏しいと言われています。

清原は当期に英国のNPO組織・SEDEXに加盟し、サプライチェーンの社会責任基準監査・SMETA監査を受けましたが、欧州流マネジメント・システムに関する学びや気づきが少なからずあり、グローバル企業と渡り合うための課題を痛感しました。

日本流の“明文化していなくとも、ちゃんとやっていますよ”ではなく、“ちゃんとやる構造を持ちマネジメント・システムに落とし込んでいますよ”と胸を張って言える状況を実現すべく、指摘事項を経営課題化し、社内プロジェクト活動を通じた仕組み作りに着手しました。

企業レベルの活動に関しての主なトピックスとしては、この他に経産省・健康経営優良法人認定を4年連続でいただき、今期はホワイト500に認定されました。

人が財産の清原ですので、まずは会社が、社員が健康であるというベースがあってはじめてCSRにも前向きに取り組めるという思いがあります。VUCAの時代、ストレスの多い世の中ではありますが、並行して進めている社員エンゲージメント向上活動とあわせて心と体の健康を維持・増進しつつ、清原らしくファッションやホビーなど、ワクワクする気持ち、心の豊かさをお届けしつつ、社会のお役にたちたいと思います。

各事業部の活動は、サステナブル商品や活動、地域活性化への取組み、NPO団体との活動、フェアトレード関連など、小さな活動積み重ねの部分が多いですが、その量と質、社員の意識は年々高まっています。一社で出来ることの限界を感じつつ、外部企業・パートナー様とのコラボ案件やチャレンジ案件への取組みも増えてきました。

清原は服飾資材・パーツを主に扱う会社であり、膨大なバリエーション(60万SKU)を提供する会社です。ここでも清原らしく、事業活動を通じて身近なところ、さりげないところで実はエコ、地球に・人に優しい・・・で社会に貢献したいと考えています。

*本レポートはCSRスタンダードに沿った体系的なものではありませんが、清原の多様なCSR活動の一旦をご理解いただければ幸いです。

CHAPTER 02

2022年の活動

I 環境

① サステナブル商品の開発・採用

○ リサイクルポリエステル裏地の販売開始

繊維業界が抱える環境破壊の問題を解決するために、サプライチェーンのサステナビリティ全体の最適化を実現する「BLUE CHAIN®」に参画しました。

CO₂削減量の提示が可能で、GRS認証を取得している糸を使用していることから、トレーサビリティを第三者機関で証明することができます。

ECO BLUE®(回収されたペットボトルを使用したリサイクルポリエステル繊維)裏地である、「ECB8001」、「ECB8003」の2品番の販売を開始しました。

○ 環境配慮素材を活用した生地、ボタン、パッケージ資材の採用

環境配慮素材(リサイクル、バイオマス等)のボタンや廃棄素材を活用した生地、製造時の廃棄物を出さないスナップボタンの開発、またパッケージ資材もバイオマス配合や古紙配合などの環境配慮品を採用することを通じて、持続可能な社会づくりに貢献します。



ナウナウボタン
(2022年1月発売)

- バイオマス、リサイクル素材配合のボタン採用
- バイオマス素材配合のパッケージ資材(台紙・袋)採用



ワンタッチプラスナッススリム
(2022年5月発売)

- スナップ製造時にプラスチックごみが出ない製造方法
- プラスチックスマート登録商品
- バイオマス素材や古紙配合のパッケージ資材(台紙・袋)採用



残糸先染めシャンプレー
(2022年5月発売)

- 工場で余った廃棄される糸を使用し織り上げた生地

○ジュート素材商品の販売

原料の栽培過程から加工時、廃棄の段階に至るまで、環境に対する負荷が小さいジュート素材の野菜保存袋の開発を行い、販売を開始しました。



○3R(reduce / reuse / recycle)への取り組み

持続可能な未来につながる取り組みとして、美しい色柄や伝統的な織物の価値に着目し、着物のリユース、アップサイクルのサービスを専門業者と提携しお客様へ提供致しました。



○グローバルなサステナブル基準への取り組み

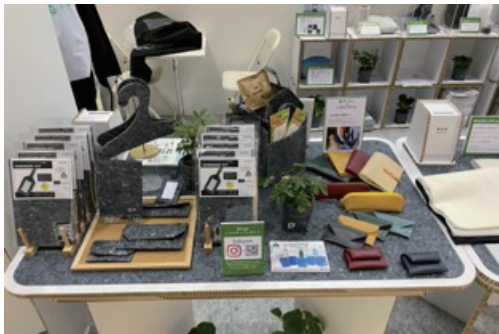
海外手芸市場に向けて販売しているジッパー等のテープ部分の再生PETへの切り替え、製造時に廃棄物を出さない“ゼロ・ウェイスト”のスナップの販売拡大、海外顧客のRSL(制限物質リスト)に対応した生産管理を推進してきました。

②株式会社BPLabと業務提携

2022年6月より株式会社BPLabとサーキュラーエコノミー・サポート業務契約を締結いたしました。株式会社BPLabの開発・販売業務サポートにより、「グリーンアップサイクル®」を使用した商品開発・販売に取り組むことで、繊維製品の循環・再生を実現いたします。

③「サステナブルファッションEXPO」出展

2022年10月18日～20日に東京ビッグサイトで開催されたサステナブルファッションEXPOにBPLab様が出展しました。開発商品として、「グリーンアップサイクル®」で作ったハンドメイドキットを展示いたしました。



④イオンモール倉敷にてワークショップを実施

株式会社BPLabが繊維製品の回収を気軽にぶらっと体験できる「循環ぶらっと」の一環として、イオンモール倉敷にてワークショップを実施しました。「グリーンアップサイクル®」を使用したハンドメイドキット(ブックカバー、ペンケース、ポーチ)を展開しました。

子どもたちが、ブックカバーやペンケースを作りながら衣料品のアップサイクルができることを学びました。

⑤TUP(TEXTILE UPCYCLE PLATFORM)加盟

2022年11月に「TUP」に加盟しました。

この法人は会員相互のネットワークを通じ、不要になった繊維及び繊維製品の色と機能を高度利用し、経済価値のある新たな用途として展開(アップサイクル)することによってサーキュラーエコノミーを実現し、持続可能な社会構築に寄与することを目的としています。

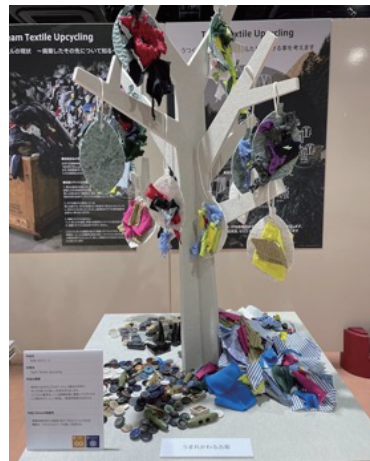
現在24の企業や団体が所属し会員相互の情報交換を行いながら、テキスタイルアップサイクルの取り組みを進めています。

⑥「ATC SDGs ART展」出展

一般社団法人テキスタイルアップサイクルプラットフォームは、SDGsをテーマとしたアート作品の展示を行う「ACT SDGs展」にテキスタイルのアップサイクル作品を出展しました。

「うまれかわりの木」は会員の持つ古着や工程内残布、未活用生地などを、「うまれかわる古着」「うまれかわる工程内残布」「うまれかわるユニフォーム」というアップサイクルを目指す3つの木として表現した作品です。

ツリーの根元に敷きつめられた廃棄される予定のボタンや金属パーツなどを提供いたしました。廃棄される運命だったテキスタイルを、人がつながり、アイデアをつなぎ、アップサイクルで価値あるものへと生まれ変わらせ、再び活用される未来への思いを込めています。



II 社会

①服飾系専門学校への協賛

専門学校のファッションショーへの協賛を通じ、学生に多彩な資材を知ってもらい、クリエイションの喜びを感じてもらえるようお手伝いをしています。

その中で、サステナブルというキーワードに焦点を当て、未来のデザイナーやパタンナーの啓蒙活動に、或いはそこから得たフレッシュな発想やニーズの具現化に取り組んでいます。

②情報発信コンテンツ強化

ライブ配信による商品説明やキャンペーン紹介、ショート動画やレシピの配信、ブログ投稿の継続等、お客様のニーズに合わせて様々なチャンネルでのコンテンツ展開と強化を行いました。また会員制サイトを介し情報配信を行うことで、国内のみならず海外の得意先様にも、最新の情報を平等に伝達できるよう注力しました。

③地域活性活動への取り組み

手づくりを通じて、多くの方にぬくもりと楽しさを伝えるために、石川県や東京都で活動されている作家様との共同企画に取り組んできました。全国の生活協同組合にチラシを配布する事で、共同企画を行った地域への取り組みへの認知活動にもつながっていきます。



加賀指ぬきの手作りキット
石川県 加賀ゆびぬき作家「森本 道恵」と共同開発



刺しゅうの手作りキット
東京手描友禅 伝統工芸士「鎌滝 隆」と共同開発

④NPO法人との連携・取り組み

認定NPO法人テラ・ルネッサンスと連携し、アフリカプリント生地、資材を手配しアフリカのウガンダ洋裁ルームで元子ども兵やチャイルドマザーの女性たちが小物を縫製。

その小物とアレンジ用品を自社でセットし、自社サイトのitonowaで販売を予定。

購入者がその小物に刺しゅうを施し、アレンジしたものをInstagramに投稿する事でウガンダ洋裁ルームに寄付が入る仕組みを構築。

「作り手、売り手、買い手」すべての人が笑顔になる「いとわ1100スマイルプロジェクト」の立ち上げを行いました。

itonowaは [こちら](#)

⑤グローバルなCSRプラットフォームへの登録

世界的に責任あるサプライチェーンの一員となるべく、清原(株)大阪本社は2022年よりSedexに登録、CSR評価を審査する「SMETA監査」を4 Pillar (健康と安全、労働条件、環境、企業倫理)を実施しました。

今後、志を同じくして頂ける取引先様を増やし、持続可能なサプライチェーンの構築に努めてまいります。

III 人・ガバナンス

①健康経営の実践

2020年3月経済産業省と日本健康会議より、健康経営優良法人(大規模法人部門)に認定、以降4年連続で認定を取得、今年度初めてホワイト500に認定されております。(注)

ストレスが多い世の中、心身共に健康であることが重要と考え、職場の安全衛生面の改善や環境整備、従業員の健康維持増進のため「健康経営戦略」を策定、健康にまつわる各数値目標を掲げ、喫煙率、運動習慣者率などの項目からアブセンティーズム・プレゼンティーズムまで幅広く改善に向けた取り組みを行っております。

注)健康経営優良法人制度とは、経済産業省による地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。

経済産業省が健康経営優良法人に認定された大規模法人の中で、調査結果上位 500 法人のみを「健康経営優良法人 ホワイト 500」として認定されています。

健康経営の促進は [こちら](#) (経済産業省HP)



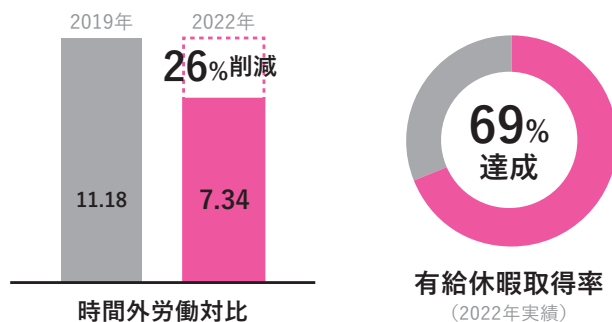
	目標値	実績			
		2022年度	2021年度	2020年度	2019年度
定期健康診断受診率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	94.8%
喫煙率	20.0%	20.2%	22.0%	23.0%	26.2%
運動習慣者率	20.0%	18.4%	18.9%	18.0%	14.0%
時間外労働時間(月平均)	7時間	8.3時間	8.5時間	10時間	11時間
有給休暇取得率	70.0%	69.0%	65.0%	60.4%	60.1%
傷病による休職者数(年間)	0名	2名	2名	2名	2名
アブセンティーズム (傷病による平均欠勤日数)	1日	0.16日	0.35日	2日	2.6日
高ストレス者率	7.0%	9.2%	10.0%	10.4%	13.7%

②働き方改革への取り組み

少子高齢化や価値観が多様化する世の中において、社員が個々の事情に応じた多様で柔軟な働き方を選ぶことを支援するため、諸制度の整備と運用強化を進めていきます。

残業が多い、有給休暇が取りづらいという業界の特性を克服すべく、業務改善活動と就業管理システム導入による運用徹底により下記改善を図りました。

SMBC HPは [こちら](#)



③新たな福利厚生サービス「ライフサポート倶楽部」導入

健康支援・両立支援・キャリア支援・余暇支援に重点をおき、従業員が明るく元気に仕事に取り組みを支援する福利厚生サービスとしてライフサポート倶楽部を導入しました。

幅広い内容で従業員をサポートすることで、より一層仕事に集中できる環境づくりをしています。

④エンゲージメント向上への取り組み

エンゲージメントとは、会社、従業員双方の結びつきを表しており、一般的に高い状態ほど、企業の生産性、業績も高くなるとされています。

従業員ひとり一人が心身ともに健康で、仕事の楽しさ、やりがいを持って取り組みができるよう、福利厚生、職場環境、各種制度の改善に積極的に取り組んでおります。

⑤キャリアアップ支援

すべての年代に対してキャリア形成研修を実施、将来のキャリアを自ら描けるよう、本人の様々な可能性を見出し、従業員の新たなチャレンジをサポートをしていきます。

また、非正規社員を正社員に登用する機会を積極的に設け、会社全体でキャリア形成を支援していきます。

現在、パートから管理職として活躍、他多数が正社員として営業職、商品企画職の中核として活躍しています。

⑥社内教育・研修活動

■健康経営に関する研修会の実施

従業員の健康維持・増進を目的として定期的に研修会を実施、生活習慣病予防、長時間労働の低減、メンタルヘルスほか幅広いテーマに基づき研修を開催しております。

■安全衛生委員会

産業医と連携し、各拠点参加型(Web会議)で基本月に1回実施しています。各職場の巡視をはじめ、従業員の健康増進に関する情報の共有、昨今ではコロナ感染対策・メンタルヘルスサポートに注力、健康経営体制し従業員がいつまでも安心して働けるよう企業全体で取り組んでいます。

■WEB学習支援(e-Learning)サービス

生活習慣病対策、メンタルヘルスケア、労働安全、ほかコンプライアンスに関してe-Learningを通じて個人のペースで好きな場所・好きな時間に学習できる環境を整備、従業員の意識向上を図っております。

■従業員向けヘルプデスクサービス

従業員とご家族向けに健康経営支援サービス(アドバンテッジタフネス)を導入、法律・税務相談などのデイリーサポートから専門医によるカウンセリングまであらゆる悩み・相談に的確なアドバイスを受けることができる体制を設けております。

CHAPTER 03

79期(2023年6月～2024年5月)方針

79期も引き続き①CSRプロジェクト、②各事業部、③経営会議の連携の下、SCR/SDGsへの取組を進めてまいります。

冒頭でも述べましたが、4つの重点課題、①環境保全、②人権尊重、③労働環境、④腐敗防止対策を、企業経営・ガバナンス課題と捉え、マネジメント・システムを構築し、ベンダー様やパートナー様を含めたサプライチェーン全体での活動へステップアップを図っていきます。

中長期課題としましては、繊維産業の課題であるファッションロス削減に、全産業に課せられたCO₂排出量削減への対応に関しては数値目標の設定・クリアなど、業界団体と歩調を合わせて進めて参ります。

各事業部の79期CSR方針は以下のとおりです。

アパレル事業部

サーキュラーエコノミーの実現に向けた環境配慮型商品の開発やサービスの創出とともに、人権に配慮した調達の実現・トレーサビリティの確保を目指します。

ホビーライフ事業部

サステナブルへの取り組みとして、商品やパッケージ資材は廃棄素材、バイオマス素材などの活用を通じて環境に配慮した商品開発を進めるとともに、リメイク・補修材料を提案し廃棄品削減に繋げ、持続可能な社会づくりに貢献していきます。

加えて、サステナブル商品の情報配信や品質管理の強化に取り組む事で、安心・安全・心豊かな暮らしをサポートしていきます。

ライフスタイル事業部

お客様の戦略パートナーとして、エコ商材、地域活性化活動やフェアトレード活動への協力など、多様なニーズに応じていきます。

積極的に流通に携わり、事業活動への経済的効果(収益性)の発揮、付加価値づくりに加え、社会貢献に一役を担いながら企業価値向上を目指します。

海外事業部

リサイクルや環境配慮型原料を使用した繊維資材、手芸資材の海外向け提案をより強化するとともに、衣料品や作品を長く使っていただくための素材、補修用品の開発を進めてまいります。

また社会的責任を尊重する顧客・仕入先様との関係を深め、グローバルなCRS基準を満たした商品、サポートの提供を行ってまいります。